



往還通信

第117号

ホームページ <https://miekenjukai.com>

R4.11.11発刊 E-mail oukan@ccnetmie.ne.jp



社会福祉法人 三重健寿会
特別養護老人ホーム 往還

〒510-8103 三重県三重郡朝日町大字柿字熊之田564番地
Tel (059)377-6011 Fax (059)377-6001

2022 往還祭り



今年の往還祭りはコロナ対応の中でいかに利用者様に祭りを楽しんで頂くかを委員・看護師と考えました。他ユニットとの交わりを極力避ける形を心がけ、ホール内に屋台、玄関前には往還神輿と太鼓を設置して、利用者様にユニット外に出て楽しんで頂けるようにしました。祭り当日は利用者様の誘導に少しバタついた感もありましたが、太鼓を叩いて頂くコーナーでは普段ではなかなか見ることのできない表情をされ、外の光と空気を感じていただくこともでき、とても良かったのではないかと思います。事務所も含め全スタッフが対応していただいたおかげで、利用者様のいい顔が拝見できました。ありがとうございました。

往還祭り実行委員長 浅井奈緒美



コロナマークⅦ さよならが言いたいのだが

理事長 柿澤善樹

往還祭りは無事終わり、職員の皆さんに感謝します。往還に住んでいる御高齢者の皆さんも楽しんでくれた事と思います。来年は御家族に来てもらいたいものです。

「コロナ」とは、もともと、ギリシャ語で王冠という意味である。今までは、太陽の周りに炎のように観えるものを思い浮かべた。今では話題のウイルス感染症を指す。石油ストーブメーカーの名前にもなっている。昨年冬、「コロナ」感染予防対策として換気をよくするとエアコン暖房が効かないので、購入した石油ファンヒーターが「コロナ」であった。換気が適正であれば石油ストーブは静かで温かい。メキシコに「コロナビール」がある。

40年程前、私が最初に購入した自動車は「マークⅡ」である。モデルチェンジ前の名称は「コロナマークⅡ」であった。かつて、トヨタ系のカローラ、コロナ、ニッサン系のサニーが大衆車の草分けであった。最近、歌手吉田拓郎はTV番組にて引退表明した。ラジオ深夜放送で流された「受験生ブルース」にて火が付いたフォークブーム。「フォークの神様」岡林信康の時代から「傘がない」と歌う井上陽水と共に新しい時代を歌った。吉田拓郎の最初のレコードはA面「イメージの詩」B面「マークⅡ」のドーナツ盤である。20歳代前半でつくった「マークⅡ」では「さよならが言えなくてどこまでも歩いた」「年老いた男が川面を見つめて年の流れを・・・」と歌っている。

2019年12月、中国武漢で新型コロナ最初の発症者が出てから3年近くになる。

2002年、中国広東省から広まった「SARS」は1年程でおさまった。「SARS」では中国は当初、感染発症を隠蔽していた。公表された直後、当時中学生の息子が囲碁の交流会で中国へ行き随分心配した。

「SARS」の病原体の名称は「SARS-CoV」である。「新型コロナウイルス感染症」は「COVID-19」が正式な名称でありその病原体の名前は「SARS-CoV-2」である。つまり、「SARSマークⅡ」とも称せる。

「SARS」は2004年以降世界でヒトへの感染は見つからないようだ。

ヒトに感染するコロナウイルスは、風邪の病原体として人類に広く蔓延している4種類と、動物から感染した重症肺炎ウイルス2種類が知られている。前者4種類はヒトが6歳頃までにほとんど感染し生涯にわたり何度も罹患するが症状も軽く大きな問題にはならない。後者2種類が「SARS」と「MARS」の病原体である。今回の「新型コロナ」ではメッセージRNAを用いた新しいワクチンが開発され使用された。「新型コロナ」が変異しても手早く対応したワクチンを開発できる。ワクチンは個人的理由で打てない方もいるが、できる限り多くの人々が接種し、世界の人々が自然免疫も含め抵抗力を持った集団社会を作ることになる。それはワクチンを接種できない人の感染予防にもなる。前者4種類の5つ目になる。

「withコロナ」である。第Ⅶ波がこのまま収まってくれそうにない。オーストラリアの例から、今から年末にかけてインフルエンザと共に第Ⅷ波への対策が必要と云われている。

コロナマークⅦにさよならを言いたいのだが。

歯科衛生士通信



【口腔ケアと感染症予防】

毎日の口腔ケア・歯磨きが感染症を予防します

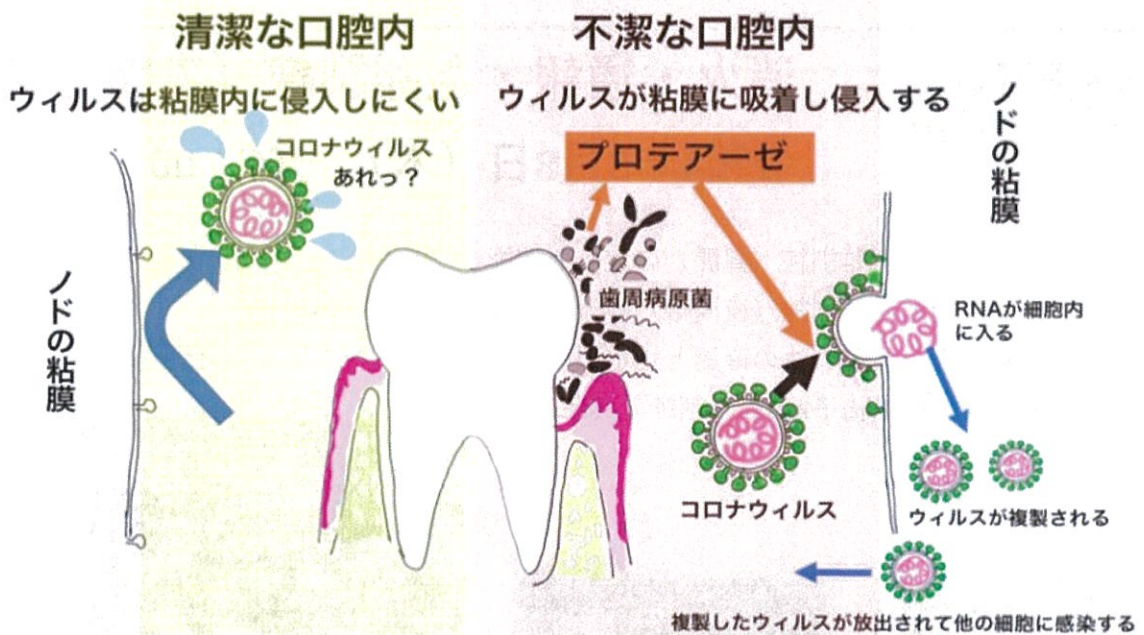
新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスは核酸という遺伝子がエンベロープというタンパクのカプセルに包まれた構造になっています。

口腔内を含め腸管内の細菌もプロテアーゼという蛋白質分解酵素を作り出します。

不衛生な口腔内に存在するはたくさんの細菌が作り出す大量のプロテアーゼとウイルスのエンベロープと接触した結果、ウイルスが口腔粘膜を中心とする粘膜細胞に侵入しやすくなります。

「歯磨きをしっかりとおこない細菌量を少なくすると新型コロナウイルスが感染しにくくなる。」という理由はそこにあります。

感染症の予防には手洗い・うがい・栄養と睡眠、そして「ていねいな歯みがき」をおこないましょう。



参考文献：「高齢者口腔ケアは、誤嚥性肺炎・インフルエンザ予防に繋がる」 日本歯科医学会誌 2007年3月
奥田克爾(東京歯科大学名誉教授)



”歯磨き、生き生き息きれい！”で皆様も身近な所から感染症予防対策を行いましょう！



職員研修



コロナ感染対策の点から、ネット研修を活用した形で知識や技術の向上を図っています。

● 8月『利用者の真の主訴を考える』

『接遇の理解と現場にふさわしい言葉遣い』

『感じの良い挨拶』

当施設は集団で生活する場であり、個々の希望や目的に対して十分に寄り添えているとは言い切れない面があると思っています。ご利用者に

とって本当（真）の希望はなんだろう？という目を向けて振り返る機会を設けました。また、言葉遣いや感じの良い挨拶を心がけて利用者と職員お互いにとって少しでも快適な空間に繋がることを願っています。



● 9月『事故予防と緊急時対応研修（緊急時対応の原則・異常の早期発見）』

事故・急変はどんなに普段から予防策を講じていても、注意をしても

必ず起きます。心が落ち着いている時に、事故や急変に目を向けて、振り返る

機会を設けました。緊急事態が起きる前の普段からの準備・対応。そして、もしも起きてしまったら、できる

かぎり迅速に適切な対応とご家族への状況のお伝えが大切であることを確認してもらいました。職員もその

状況に動揺して機敏に動けないこともあると思いますが、1つずつ対応できるように努めていきたいと思

っています。



防災訓練

消火・通報・避難訓練（夜間想定）

令和4年9月8日（木） 14：00～

- 訓練実施内容：①河川氾濫避難訓練（昼間）の流れの確認
 ②河川氾濫避難訓練（夜間帯）の流れの確認
 ③止水板の設置方法の確認と止水板の保管場所（ポンプ室）の確認
 ④階段での車椅子2人昇降訓練の実践

訓練の様子



* 訓練後、職員通用口と厨房通用口に使用するアクアブロック（土不要、水だけで膨らむ緊急用土のう袋）を追加整備しました。